

千歳民報

千歳の「事件現場特殊清掃センター」

通信講座で専門家養成

需要増の中、業界の健全化へ

孤独死があつた部屋などを片付けて、原状回復する特殊清掃。その専門家を育成する通信講座を、千歳市に本部を置く「事件現場特殊清掃センター」(木村栄治理事長)が4日からスタートさせた。特殊清掃の技術と知識に精通した専門家を養成することで、過剰請求といったトラブルを未然に防ぎ、業界の健全化を目指す。

特殊清掃とは、腐乱した遺体から発せられた悪臭の消臭や害虫の駆除、床などに付着した体液を取り除いて除菌する作業のこと。感染症予防の知識など専門的な技能を要するため、遺族が清掃す

ることは難しい。同センターによると、少子高齢化の影響で一人暮らしの高齢者の孤立死が増加傾向にあることから、需要が高まっているという。同センターが始めた養成講座は、特殊清掃の基

礎知識や消臭の仕方、作業ポイントなどをDVDや教本で学ぶ。2カ月の間に問題集の設問に回答し、センターに提出。基準点以上で「事件現場特殊清掃士」の資格を与える。

資格を設けることについて同センターは、依頼者と業者との間で、料金などをめぐるトラブルが起きていることを指摘する。特殊清掃に特化している業者は少なく、一般の清掃業者が多く参入しているとみられるが、明

寄せられているという。

認定者を増やすことで、過剰請求や料金体系の不透明さ解消を狙う。

木村理事長は「業界全体の水準を向上させていきたい」と意気込んでいる。

受講料は2万5000円で、すでに50人ほどが、講座を申し込んでいる。

問い合わせは、事件現場特殊清掃センター 電話0123(42)0622。